沼田９月市議会報告

地域防災計画の見直しを要求

原発事故受けて放射能汚染対策追加を…井之川議員

井之川博幸市議

井之川博幸議員は、いままでの沼田市地域防災計画には原発事故対策がまったくないので、今回の福島第１原発事故を受けて、１００ｋｍ圏にある「柏崎刈羽原発」の事故を想定した防災計画を追加するよう星野已喜雄市長に要求しました。

市長は、「市で対応可能な範囲で地域防災計画に反映させていきたい」と答えました。

また、井之川議員は、原発そのものからの撤退についても市長の見解を質しました。

市長は、「原子力発電に対して国民の信頼が失われていることや、安全確保に様々な課題があることから、代替エネルギーの確保に応じて段階的に撤退することが望ましい」と答えました。

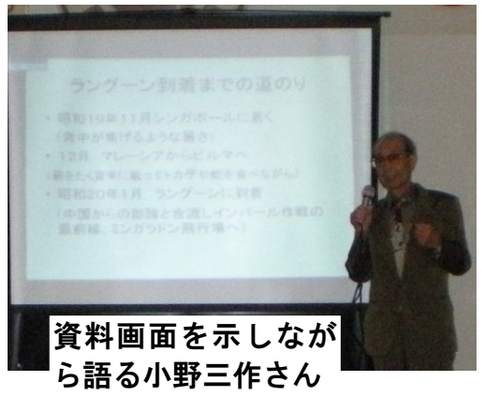
自然エネルギーの普及推進を要求

井之川議員はさらに、国の「再生可能エネルギー法」に関する見解といままで何度も取り上げてきたことにより、OMソーラや太陽光発電などを市施設に設置するとともに、市民の住宅に太陽光発電パネルなどの設置に対する補助金制度を実現してきましたが、今回の原発事故を受けていっそうの自然エネルギー普及推進が必要であると要求しました。

市長は、「電気事業者の買い取りが義務付けられ、太陽光・風力・水力・地熱・バイオマスについて普及拡大が期待できるので、本市としても今後研究していく。エネルギーの地産地消という観点から自然エネルギーの普及推進について、検討していかなければならない」と答えました。

第４回戦争体験を聞く会に４０人

インパール作戦に参加して…小野三作さん語る



資料画面を示しながら語る小野三作さん

沼小学区９条の会（小泉初男代表）の主催する「第４回戦争体験を聞く会」が１０月１日、坊新田町公民館で開催され、４０人を超える人たちが参加しました。

数万人の兵力を動員して行なった「インパール作戦」は、半数以上が餓死をした歴史上でも有名な無謀な作戦でした。その作戦に参加し生き延びた小野三作さんの語る内容は、体験者ならではの生々しい話でした。小野さんの話の前に、「インパール作戦」がなぜ行なわれたかなどの背景を中島祐介さんが解説しました。

生健会発足へ準備会

格差社会・貧困社会の中で、力をあわせ健康で文化的な生活を築くために「利根沼田生活と健康を守る会」を発足させようという準備会が１０月４日、上原町区民館で開催され、１２人が参加しました。

老若男女が楽しく交流 町ぐるみ体育祭

１０月２日、十王公園で第４３回高橋場町・町ぐるみ体育祭が開催され、多くの町民が参加し、１日楽しみました。

↑輪回し競争　かけっこ→

２０１１年１０月９日　No.５７９
いのさんニュース
発行所沼田市下久屋町 983　☎23－1519
井之川博幸議員活動地域版部内資料